

# わが国における 乳児一次健診での 整形外科の介入状況

医療法人 慈誠会 山根病院  
星野弘太郎

第61回 日本小児股関節研究会(2022年6月9日～10日 神戸→WEB)

# 抄録

1970年代の股関節脱臼予防啓発活動により乳児の股関節脱臼は激減し、その結果、整形外科による一次健診は1980年代後半から行政側による費用対効果を理由とし廃止されてきた。

【目的】本研究の目的は、現在日本において一次健診で整形外科がどのくらいかかわっているのかを明らかにすることである。

【方法】JPOA健診委員会各都道府県キーパーソンへEメールにて全国調査を実施した。質問は「担当されている都道府県内の乳児健診において、整形外科が一次健診をしている自治体はありますか？」であった。

【結果】14道県の157市町村で実施されていた。総自治体数1718の9.1%であった。該当自治体公式サイトから出生数(2019年)をデータ抽出し、これを合計し、総出生数における健診実施乳児数の割合を算出したところ5.0%に過ぎないことがわかった。自治体数の50%以上でされているのは青森(65%)と徳島(58%)のみで、継続されている自治体があっても少数であり、まさに絶滅危惧的な状態であると判明した。

北海道や兵庫は大都市をかかえていながら遅診断発生率が低率であり疑問に思っていたが、整形外科による一次健診が残っていることが関連している可能性がある。

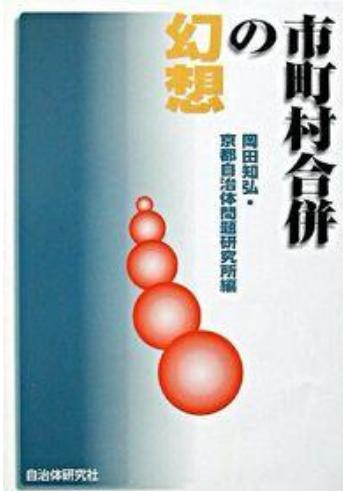
【まとめ】実施継続されている都道府県では遅診断率が低く、乳児健診の精度に影響していると推察された。乳児の股関節脱臼遅診断を根絶するための一つの影響因子として維持すべき制度と考える。

# 整形外科による乳児健診の廃止

- 1980年代後半から行政側は費用対効果を理由とし、整形外科による一次健診を廃止とし、個々に抗議はするものの学会としての動きには至らず、押し切られる形で小児科のみとする自治体が増えた。
- 1992年厚生省は小中学生の胸部X線集団検診の廃止を通達したことから、継続されていた乳児股関節X線検診も廃止へ動いた。
- 1997年母子保健法の改正により健診の実施主体が県から市町村に変更→予算の問題などからさらに廃止へ動いた。
- 市町村合併に伴った廃止も連動して発生。

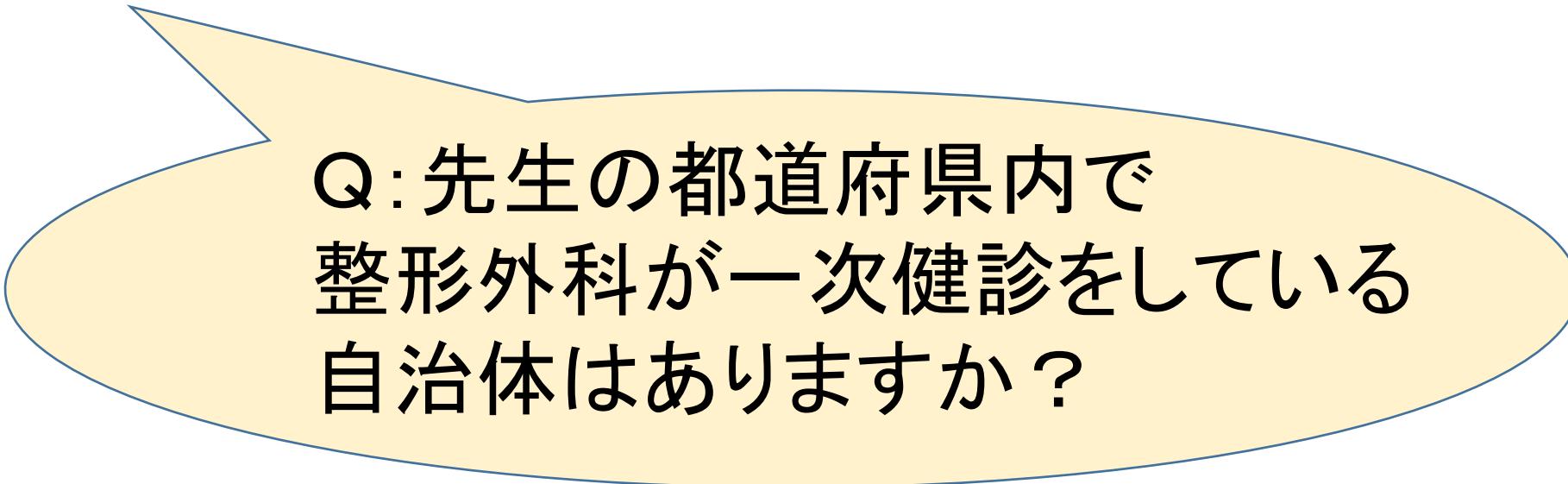


県 → 市町村



現在日本において一次健診で整形外科が  
どのくらいかかわっているのであろうか？

方法：「健診委員会各都道府県キーパーソン」へ  
Eメールにて全国調査を実施した。



Q: 先生の都道府県内で  
整形外科が一次健診をしている  
自治体はありますか？

突然のメールにもかかわらず快くご協力いただきありがとうございました。

# 結果 整形外科による一次健診実施自治体数

表記は都道府県名 該当自治体数/全自治体数

(2019年該当自治体の出生数)

14道県157自治体43389児

総自治体数1741の9.0%

総出生数86.4万児の5.0%

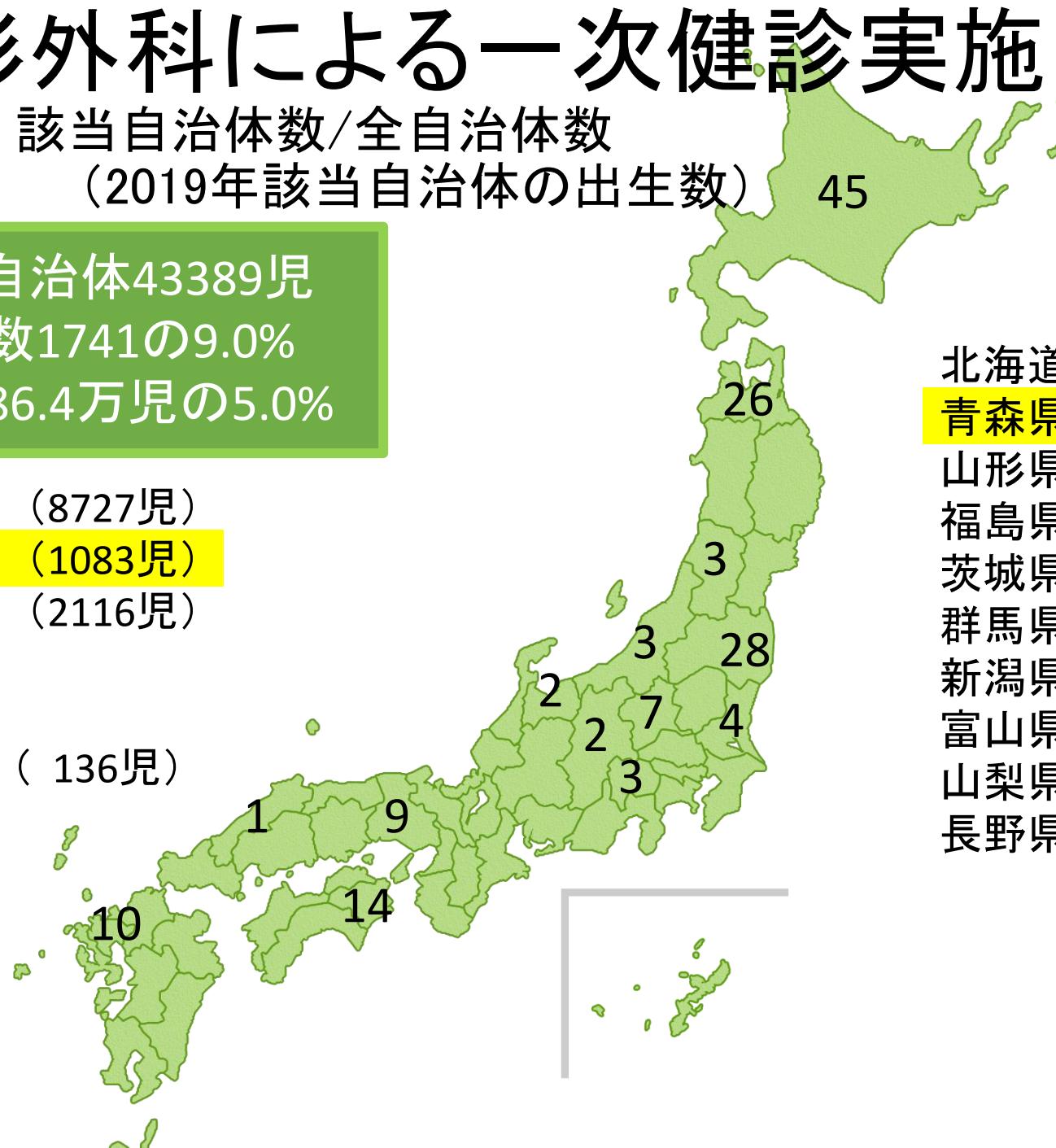
兵庫県 9/41 (8727児)

徳島県 14/24 (1083児)

佐賀県 10/21 (2116児)

新規公認

島根県 1/19 ( 136児)



北海道 45/179 (3758児)

青森県 26/40 (5208児)

山形県 3/35 ( 630児)

福島県 28/59 (3393児)

茨城県 4/44 (1391児)

群馬県 7/35 (7755児)

新潟県 3/30 (6059児)

富山県 2/15 ( 843児)

山梨県 3/27 (1601児)

長野県 2/77 ( 825児)

# 結果 整形外科による一次健診実施自治体数

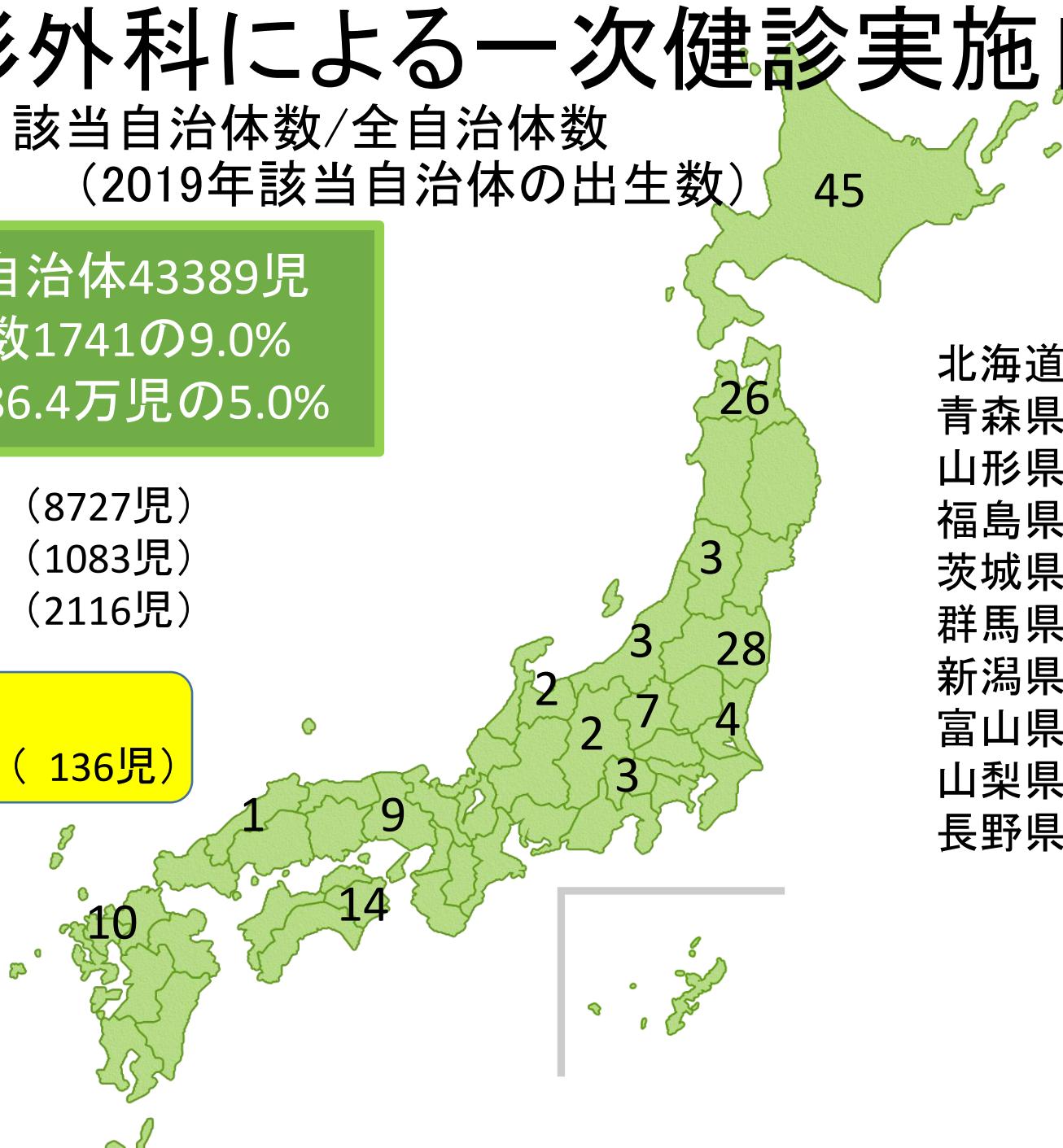
表記は都道府県名 該当自治体数/全自治体数

(2019年該当自治体の出生数)

14道県157自治体43389児  
総自治体数1741の9.0%  
総出生数86.4万児の5.0%

兵庫県 9/41 (8727児)  
徳島県 14/24 (1083児)  
佐賀県 10/21 (2116児)

新規公認  
島根県 1/19 ( 136児)



北海道	45/179	(3758児)
青森県	26/40	(5208児)
山形県	3/35	( 630児)
福島県	28/59	(3393児)
茨城県	4/44	(1391児)
群馬県	7/35	(7755児)
新潟県	3/30	(6059児)
富山県	2/15	( 843児)
山梨県	3/27	(1601児)
長野県	2/77	( 825児)

# 都道府県別完全脱臼遅診断率(脱臼20例以上の都道府県)

診断遅延率 高率			診断遅延率 低率		
1	京都	29.1%( 7/24)	1	滋賀	4.8%(1/21)
2	埼玉	26.7%(16/60)	2	北海道	6.7%(4/60)
3	東京	20.8%(26/125)	3	宮城	6.8%(3/44)
4	大阪	20.2%(17/84)	4	兵庫	7.2%(4/55)
5	岐阜	20.0%( 6/30)	5	長野	9.7%(3/31)
6	三重	20.0%( 4/20)	以下は10%以上となる		
7	愛知	19.3%(17/88)			
8	千葉	17.1%(14/82)			
9	福島	16.7%( 4/24)			
10	神奈川	12.7%(9/71)			

JPOA多施設研究調査(2011～2012年)からのデータ

# 都道府県別完全脱臼遅診断率(脱臼20例以上の都道府県)

遅診断  
発生の  
50%

診断遅延率 高率		
1	京都	29.1%( 7/24)
2	埼玉	26.7%(16/60)
3	東京	20.8%(26/125)
4	大阪	20.2%(17/84)
5	岐阜	20.0%( 6/30)
6	三重	20.0%( 4/20)
7	愛知	19.3%(17/88)
8	千葉	17.1%(14/82)
9	福島	16.7%( 4/24)
10	神奈川	12.7%(9/71)

診断遅延率 低率		
1	滋賀	4.8%(1/21)
2	北海道	6.7%(4/60)
3	宮城	6.8%(3/44)
4	兵庫	7.2%(4/55)
5	長野	9.7%(3/31)
以下は10%以上となる		

JPOA多施設研究調査(2011～2012年)からのデータ

# 都道府県別完全脱臼遅診断率(脱臼20例以上の都道府県)

診断遅延率 高率		
1	京都	29.1%( 7/24)
2	埼玉	26.7%(16/60)
3	東京	20.8%(26/125)
4	大阪	20.2%(17/84)
5	岐阜	20.0%( 6/30)
6	三重	20.0%( 4/20)
7	愛知	19.3%(17/88)
8	千葉	17.1%(14/82)
9	福島	16.7%( 4/24)
10	神奈川	12.7%(9/71)

診断遅延率 低率		
1	滋賀	4.8%(1/21)
2	北海道	6.7%(4/60)
3	宮城	6.8%(3/44)
4	兵庫	7.2%(4/55)
5	長野	9.7%(3/31)
以下は10%以上となる		

整形外科  
一次健診  
残存

JPOA多施設研究調査(2011~2012年)からのデータ



II 乳幼児健診

## 乳幼児健康診査の現状と今後の課題

大正大学人間学部教授  
日本子ども家庭総合研究所情報担当部長

なかむらたかし  
中村敬

生後2～4か月に先天性股関節脱臼の健診を集団で実施しているところ（約0.5%）もあり、中には先天性股関節脱臼の発見のために、超音波を用いたスクリーニングを集団に実施しているところもある。

股関節脱臼健診を行っているのは約0.5%  
(中村敬. 母子保健情報. 2008年)

全例エコー検診をしている自治体4 → 0.2%  
(下諏訪町、新潟市、射水市、江津市)

# まとめ

- 国内乳児検診において整形外科による一次健診が行われているのは、14道県157自治体（総自治体数の9.0%）であった。
- 該当自治体の出生数から整形外科健診を受けた乳児の割合は5.0%であった。
- 実施継続されている道県では遅診断率が低く、乳児健診の精度に影響していると推察された。
- 乳児の股関節脱臼遅診断を根絶するための一つの影響因子として維持すべき制度と考える。